

## MRI 検査についての注意事項

MRI 検査は強い磁力と電磁波を使って検査を行います。この特性により下記項目該当者は検査を行うことができない又は確認が必要ですので、あらかじめご了承ください・ご確認下さい。

### ①検査を行うことが出来ない。

- ・心臓ペースメーカーを埋め込まれている。
- ・金属製の心臓人工弁をご使用されている。
- ・人工内耳（移植蝸牛刺激装置）、人工耳小骨をご使用されている。
- ・神経刺激装置（深部脳刺激装置、TENS装置）をご使用されている。
- ・除細動装置。
- ・骨成長刺激装置。
- ・注入ポンプ等。
- ・磁力により装着する義眼や磁力部分が着脱不能な義歯。
- ・冠状動脈等に磁性体のステント挿入。

### ②検査を受けるには材質等の確認が必要。

- ・脳動脈瘤手術による金属クリップやコイル等。  
金属の材質をご確認下さい。材質のわからない場合は検査を受けることができません。
- ・その他の金属が体内にある。  
眼などの外傷に鉄粉（弾丸や鉄片等）が残存する場合、その他の部位で材質が確認できない場合は検査を受けることができません。
- ・閉所恐怖症。
- ・入れ墨がある。  
入れ墨では、火傷や絵が崩れる可能性があります。

### ③妊娠中もしくは妊娠の可能性がある。

- ・胎児に対する MRI 検査の安全性は確立されていません。もし検査を行う場合は、検査の有効性がリスクを上回らなければなりません。（特に第 1 三半機関の妊娠期間の最初の 3 ヶ月の検査は慎重になる必要があります。）

### ※検査を受けるにあたり注意する事

- ・長時間一定の姿勢を保持  
撮像時間が長いため、検査中に痛み等で動いてしまうと写真がぼけてしまいます。可能な限り楽な姿勢で検査を行えるようにはしますが、それでも一定の姿勢が保てない場合は検査を中止することがあります。
- ・検査室内に、補聴器・装飾品・腕時計・磁気カード・電子機器等を持ち込むと故障、データが消失します。
- ・入れ歯・使い捨てカイロ・エレキバン・ベルト等は、火傷や画像の乱れを引き起こす可能性がありますので取り外していただきます。
- ・アイライン・マスカラ等は火傷を発症する事例があるため、検査前に落としていただく場合があります。（酸化鉄などの成分が含まれている場合）
- ・湿布薬・ニトロダーム（ニトログリセリン真皮浸透絆創膏）・ニコチンパッチは電流が流れる場合がありますので外していただきます。
- ・コンタクト  
特にカラーコンタクトレンズの場合は、原則取り外していただきます。